

# 「民族共生の象徴となる空間」整備による 白老町活性化推進基本構想



イランカラテ

「こんにちは」からはじめよう。

平成27年4月20日

「民族共生の象徴となる空間」整備による白老町活性化推進会議

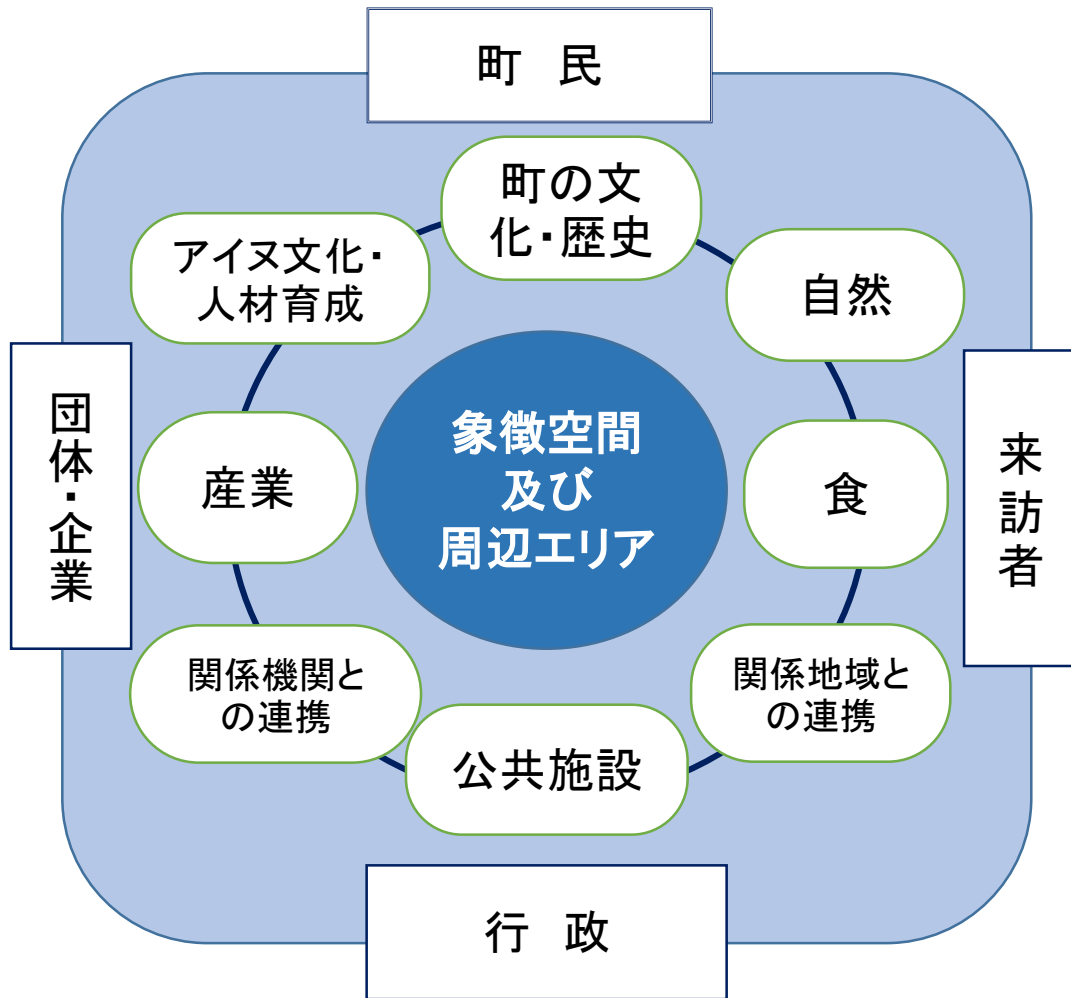
# 1 理念

白老町には、ポロト休養林をはじめ雄大な北海道ならではの「**自然との暮らし**」、本道を代表する黒毛和種の白老牛・四季折々の新鮮な魚介類などの食材や地勢を活かした多種多様な「**産業との暮らし**」、そして古くから受け継がれてきたアイヌ民族の伝統文化や生活の中で培ってきた「**文化との暮らし**」など、多くの資源と人々とのつながりが育んできた「**誇るべき宝**」が数多くあります。

一方、国においては、先住民族であるアイヌの尊厳を尊重し、国内外にアイヌの歴史・文化等に関する理解を促進するアイヌ文化の復興等に関するナショナルセンターとしての「**民族共生の象徴となる空間**（以下、「象徴空間」という。）」整備によって、幅広い理解促進の拠点並びに将来へ向けてアイヌ文化の継承及び新たなアイヌ文化の創造発展につなげていこうとしています。

本町では、これまでの実績を活かしながら、象徴空間整備によって「**集まる**」情報、技術、資料、知識、ひと等を活用することで、「**誇るべき宝**」と**融合**させ、町の魅力をさらに磨き上げ、まちの活力を高めていくために、官民関係団体が一体となって取り組んでいく指針として「**白老町活性化推進基本構想**」を定めます。

# 活性化推進基本構想の概念図



みんなの心つながる活力あふれる共生のまち

## 【活用・手法】

- アイヌ文化・人材育成
- 町の文化・歴史
- 自然・環境・資源
- 食・山海の幸・グルメ
- 産業・生産加工販売  
連携・新産業創出
- 公共施設等基盤整備
- 関係機関との連携
- 関係地域との連携

## 【基本方針】

- アイヌ文化の理解と復興による多文化共生社会の実現を図る。
- 文化・歴史を尊重する人材育成と教育体制を確立する。
- まちの資源を活かして人を呼び、地域に仕事を生み出す。
- 地域と交流を支える都市基盤を構築する。
- 多様な交流による理解協力と連携による活性化を図る。

### 3 基本方針

#### (1) テーマ

## 「みんなの心つながる活力あふれる共生のまち」

**「心」** 一人ひとりが主人公となり、担い手となって心をひとつにすることで、理解と復興による多文化共生社会の構築をめざします。

**「活力」** 文化を創造する活力、暮らしを豊かにする活力、産業を振興する活力は、豊かで魅力ある地域社会の維持発展への土台であり、雇用の場の確保や人材の育成に取り組み、まちの活力を高めていきます。

**「共生」** アイヌの人々や先人たちが培ってきた歴史や文化、多彩な地域資源は、まちの誇りであり、故郷の愛着を育む重要な要素です。これらを受け継ぎ、後世に伝えていくことは私たちの責務であり、自然・産業・生活・文化に共生の精神を根付かせていきます。

## (2) サブテーマ

### ① 情報共有・発信

**アイヌ文化の理解と復興による多文化共生社会の実現を図る。**

### ② 教育・人材育成

**文化・歴史を尊重する人材育成と教育体制を確立する。**

### ③ 産業活性化

**まちの資源を活かして人を呼び、地域に仕事を生み出す。**

### ④ 基盤整備・おもてなし

**地域と交流を支える都市基盤を構築する。**

### ⑤ 交流促進・連携

**多様な交流による理解協力と連携による活性化を図る。**

# 4 主要施策

## (1) 教育・学習推進分野

### 将来目標

象徴空間整備に伴う多文化共生の地域づくりをめざす。

1 アイヌ民族の歴史と文化の正しい認識と理解の普及

2 民族の尊厳を尊重し合える共生社会の実現

3 多文化共生による地域発展

### 基本方針

国籍や民族、言語、文化の差異を認め、尊重し合うことにより多様で豊かな生活空間を共有する社会の構築。

- (1) 歴史を正しく理解し、文化に関する知識、情報を共有できる環境づくり
- (2) 歴史・文化を学習するための教育振興

- (1) アイヌ文化の復興と創造的継承の支援
- (2) アイヌ文化と伝統を尊重する共生のまちづくり
- (3) アイヌ文化を普及・活用する人材育成

- (1) アイヌ文化の知識や技術等を有する人材の育成と雇用の拡充
- (2) 多文化共生を担う人材育成や研究者等を輩出し活躍できる環境づくり

### 主要施策

独自文化の保存伝承、理解を広げる環境づくりや相互協力できる土壌づくり。

- ① 学習機会の拡充
- ② 子どもから大人までの参加・理解
- ③ 内外の交流や参加機会の拡大
- ④ 多文化共生教育の推進

- ① 普及・啓発、体験交流の推進
- ② イオル再生事業の推進
- ③ (町)陣屋資料館と(国)博物館の連携
- ④ 文化振興・創造の推進・支援

- ① 人材確保・育成体制の確立と起業支援
- ② ボランティア人材の育成と活動拡充
- ③ 町内の伝承地の活用・整備
- ④ 多文化共生に関する情報発信・受信の拡充

## (2) 情報推進分野

将来目標	基本方針	主要施策
<p>誰もがいつでもどこでもアイヌ文化に触れられ学ぶ機会があり、情報の共有ができる環境づくりをめざす。</p> <p>1 誰もが象徴空間の意義を理解</p> <p>2 情報伝達や周知活動によるアイヌ文化の理解と共有</p> <p>3 理解と共有による啓発活動等への参画</p>	<p>アイヌ文化への理解を加速させ、多文化共生社会の構築を図ります。</p> <p>(1) 意義を広く発信する。 (2) 周知活動の展開を強化する。</p> <p>(1) 理解度の向上を図る。 (2) 情報発信を強化する。</p> <p>(1) 理解・共有の輪を広げる。 (2) 啓発活動への参画を図る。</p>	<p>・アイヌ文化の普及と啓発 ・象徴空間のPRと情報発信 ・イランカラプテ運動の推進と展開</p> <p>① 内外へ情報発信活動の推進 ② 象徴空間のPR推進(愛称等)</p> <p>① 情報発信ツールの作成 ② 理解・共有度の確認、評価</p> <p>① 象徴空間キャンペーンの展開 ② 参画活動の体制・手法の充実 ③ おもてなし研修会、情報発信ツール設置</p>

### (3) 活性化推進分野

将来目標	基本方針	主要施策
<p>象徴空間整備に伴う交流人口の増加で白老町の産業活性化をめざす。</p> <p>1 賑わいのある商店街づくり</p> <p>2 世界中に発信する観光地づくり</p> <p>3 多様な人材と交流を活かした魅力あるまちづくり</p>	<p>まちの特産品や観光資源を活かして人を呼び、地域に仕事を生み出し活性化を図る。</p> <p>(1) 中心市街地の活性化 (2) (仮称)博物館通り、グルメ通りの形成 (3) 地場産品、新商品の開発</p> <p>(1) 観光資源のネットワーク化 (2) アイヌ文化の情報発信 (3) 人材育成とストーリーづくり</p> <p>(1) 料理人や伝統職人等の発掘 (2) 異文化や民族交流の活発化 (3) 体験交流の強化や交流拠点の形成</p>	<p>伝統と開発を融合した共生しらおいの創造</p> <p>① 中心市街地活性化法などの活用 ② 新たな商店街と既存商店街の整備 ③ 地場産品の活用によるアイヌ文化の発信</p> <p>① 観光交通と回遊・滞在の拡充 ② 観光資源のブラッシュアップ(磨き上げ) ③ 言語、音楽、舞踊、工芸等の伝統継承と新たな文化の創造</p> <p>① 全国人材募集による発掘強化 ② 交流イベント・コンベンション(集会・会議)の開催 ③ 民間活力を活かせる体制整備(まちづくり会社等)</p>



## (4) 基盤整備推進分野

将来目標	基本方針	主要施策
<p>交流・定住人口増加にむけた利便性向上と快適空間の創造をめざす。</p> <p>1 アイヌ文化を活かした景観と基盤整備の推進</p> <p>2 ポロト湖周辺の有効な土地利用とアクセスの充実改善</p> <p>3 商業・観光施設整備の促進と地域ネットワークの形成</p>	<p>地域と交流を支える都市基盤を構築するまちづくり</p> <p>(1) アイヌ文化を活かした景観形成 (2) アイヌ文化を活かした基盤整備 (3) 都市空間と産業空間が調和した配置の推進</p> <p>(1) 交流が活発化する土地利用 (2) 交流が活発化するアクセス促進 (3) 交流が活発化する公共交通の確保</p> <p>(1) 新たな商店街整備の推進 (2) 新たな観光施設整備の推進 (3) 地域ネットワーク(住居)の促進 (4) 既存施設の整備推進</p>	<p>・まちの活力を高める都市基盤の整備促進 ・環境と共生し人と自然にやさしいまちづくり</p> <p>① 白老らしいアイヌ文化の表現・普及と景観づくり ② アイヌデザインの社会導入・活用 ③ 生活と産業が調和した基盤整備</p> <p>① 土地利用の調和と賑わい空間の創出 ② 周辺道路及び駐車場等の整備促進 ③ 鉄道・バス等による利便性の向上</p> <p>① 新たな(仮称)博物館通りの整備 ② 拠点施設(温泉・道の駅等)の整備 ③ 滞在・定住の施設・住宅の確保 ④ 中心市街地の再生、既存施設の整備</p>

# 5 推進基本構想の実現に向けて

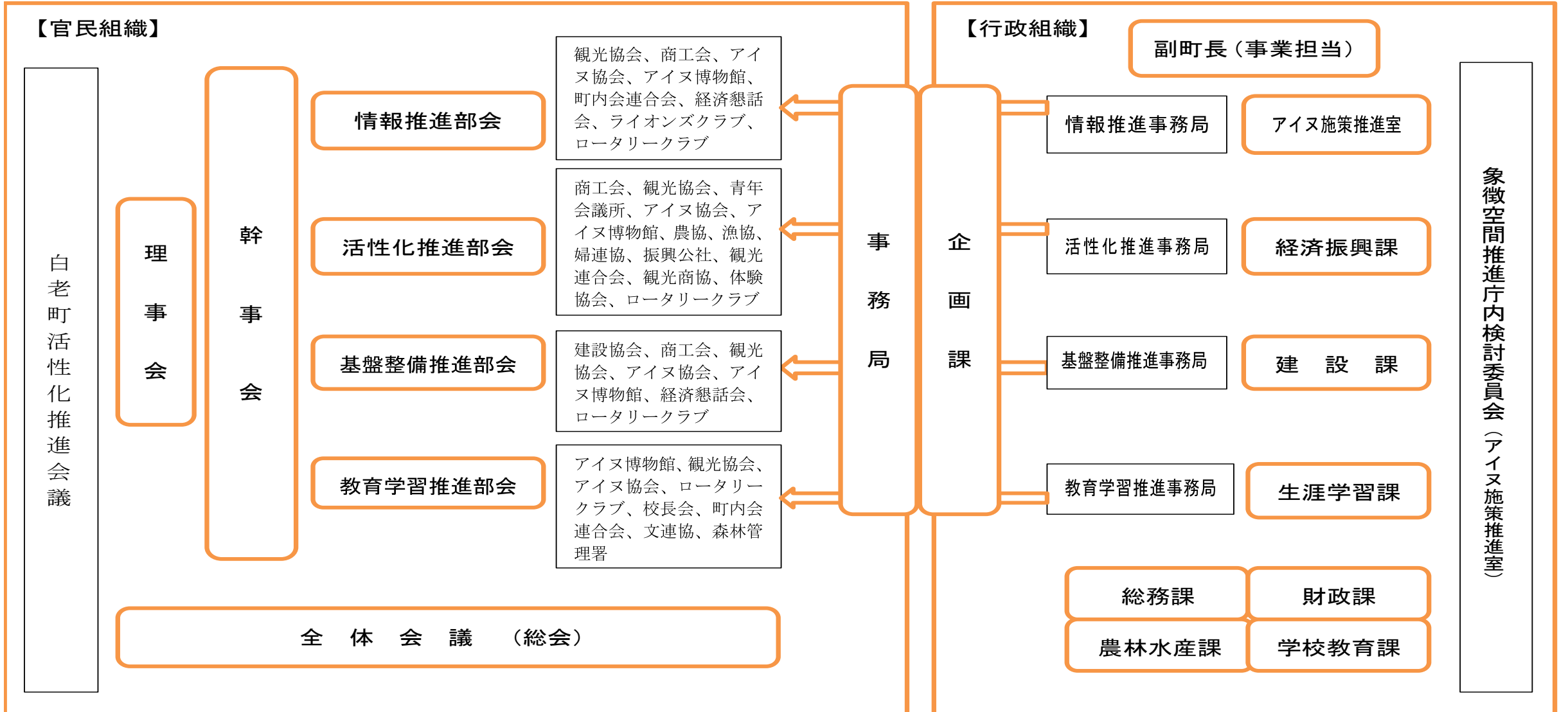
## (1) 推進予定

区分	分類	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)
目標	ソフト系	推進構想を固める段階	推進プランを固める段階		情報収集・開発段階		PR強化段階		
	ハード系		調査・研究により事業を詰める段階		事業推進・整備段階				
工程表	情報推進	(国) 象徴空間整備の基本計画・設計			最大の効果となる推進展開				
			規模決定による波及効果推計			情報発信・PR活動			
	活性化推進		開発・振興プラン (商業・観光活性化)		地場商品開発・販路拡大		PR・プロモーション、営業		
					観光商品開発・ルート造成				
	基盤整備推進		配置・整備・建設プラン		実施主体、設計		整備・建設工事		
	教育・学習推進		学習・人材育成プログラム		理解・普及活動				
				人材育成					
総合的地域内連携		情報発信	構想・プランの検討・理解		多様な参画・協力			多様な担い手活動	

象徴空間整備による活性化・効果拡大

## (2) 推進体制

「民族共生の象徴となる空間」整備による白老町活性化推進体制図



# (3) 推進プランに向けた課題

課題項目	課題内容	検討事項
1 活性化推進の「強み」 (Strengths) <b>(目標達成に貢献する内部)</b>	<b>※白老町が持つ「強み」を活かして伸ばしていけるものは何か。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊富な地域資源（独自文化・歴史、自然、食材、温泉等）の質を高め、または磨きをかけて強化を図る。</li> <li>・アクセスの利便性、優位性の発揮、活用を図る。</li> <li>・アイヌ語地名・伝承地の活用や新たな資源の発掘を図る。</li> <li>・コミュニティ活動と学習のためのノウハウの活用を図る。</li> <li>・国とのパイプがあり、情報伝達の即時性などの活用を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国の動向を早期に把握する。</li> <li>・事業者等の志向を高める。</li> <li>・開発者から提供者、消費者へのつながりを構築する。</li> <li>・回遊性や滞在時間を高める。</li> <li>・誘導サインや交通機関の整備促進を図る。</li> <li>・普及対象や内容を早期に整理する。</li> </ul>
2 活性化推進の「弱み」 (Weaknesses) <b>(目標達成を阻害する内部)</b>	<b>※白老町の「弱み」を認識していかに克服していくか。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・少子化、高齢化、人口減少の進展（いかにして防ぐか、労働力確保）。</li> <li>・民間・行政の資金力、能力の不足（補うための方策、外部活用）。</li> <li>・町内集落の点在化を一体・連携する必要（コース開発、交通確保）。</li> <li>・駅から博物館までの導線が弱い（再開発整備：宿泊・物販・食事・体験）。</li> <li>・情報発信の統一性、PR力、プロモーション力が弱い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内資金の集約化（ファンド）</li> <li>・事業者等の連携、協働システム</li> <li>・若者雇用の対策（人材確保）</li> <li>・商業力の強化（街並再編）</li> <li>・宿泊施設（個人・教育旅行）の確保</li> <li>・白老駅の改修・移転</li> </ul>
3 活性化推進の「機会」 (Opportunities) <b>(目標達成に貢献する外部)</b>	<b>※町外（外部）とどのような時期やタイミングで行うのが好機か。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内全体の気運醸成の醸成と情報発信・宣伝が必要。</li> <li>・交流人口が多いことをうまく活用する。（外国誘客、観光地連携）</li> <li>・土地利用構想の策定による開発・整備を促進する。</li> <li>・学びたいときに学べる方法（ハードとソフトの活用）を充実する。</li> <li>・講演会や学習会の開催など外部人材の活用を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報発信やパブリシティ（<u>マスコミ等を活用したPR</u>）力不足</li> <li>・アクセス等の向上</li> <li>・誘客戦略（一般・教育・海外）</li> <li>・教育施設の整備と環境確保</li> <li>・外部人材の活用</li> </ul>
4 活性化推進の「脅威」 (Threats) <b>(目標達成を阻害する外部)</b>	<b>※どのような時期やタイミングで外部活用するか。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国の意向による地域政策との不整合が生じないようにする。</li> <li>・国の整備計画とのタイミングや町の意向反映を促進する。</li> <li>・町外資本による乱開発を防ぐ。（豊かな自然の保全と維持との調和）</li> <li>・アイヌ民族・文化に対する既知意識（誤解と偏見）の改善を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部との連携、調整力</li> <li>・ポロト周辺の散策やレジャー、温泉施設の利用確保</li> <li>・交通等基盤整備の充実</li> <li>・固定概念の払拭共有</li> </ul>
5 その他共通課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町民や地域に対する情報共有と行動力の発揮</li> <li>・地域内経済の発展、産業・雇用の拡大、おもてなし受入れ体制の充実</li> <li>・文化環境、景観環境、交通利便性、リピーター確保等の基盤充実</li> <li>・民族共生、文化理解、人材育成の教育環境の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報共有、発信体制</li> <li>・おもてなし体制</li> <li>・おもてなし基盤</li> <li>・教育環境、教育体制</li> </ul>

## (4) 推進プラン策定に向けた検討事業

事業分野	検討事業
教育・学習推進	(1) 象徴空間・アイヌ民族の歴史・文化理解促進事業 ・ふるさと学習拡充事業 (2) 陣屋資料館整備事業(郷土資料館) ・白老町アイヌの関連展示事業 (3) アイヌ語地名名勝地文化財保護事業 ・ピリカノカ アヨロ海岸整備事業
情報推進	(1) 象徴空間整備に向けた内外への情報発信事業 ① 町内・町民向け情報発信・周知推進事業 ② 道内・道外向け観光誘客・情報発信事業 (2) 国の象徴空間内整備計画懸案事案の情報調整事業 ① 施設配置計画による町の基盤整備事業(国との調整事業) ・駐車場整備事業 ・エリア内整備事業 ・温泉施設移転事業
活性化推進	(1) 白老空間整備事業 ① 中心市街地活性化事業 ・活性化の核となる商業観光施設整備事業(道の駅、温泉、宿泊、まちづくり会社等) ・新たな商店街整備事業 ・既存商店街の整備事業 ・公共施設整備事業 ② 商業・観光ネットワーク事業 ・観光資源ネットワーク事業 ・虎杖浜地区活性化事業
基盤整備推進	(1) アクセス整備事業 ・アクセス道路整備事業 ・駅北整備事業(導線) ・案内サイン整備事業 (2) 景観形成事業 ・アイヌ文化を活かした街並形成事業(景観) (3) 公共交通利便性向上事業 ・JR駅改修、特急停車推進事業 ・都市間バス改善事業 ・町内循環バス改善事業